

塾業界に吹き込む、新しい風の予感

* 塾女研究会 趣旨

- ・女性の「仕事人」としての意識向上
- ・数字意識、業績向上力の養成
- ・活躍する女性ロールモデルの紹介
- ・学習塾、教育業界のトレンド研究
- ・学習塾、教育業界のトレンド研究
- ・女性が活躍できる組織づくり研究 など



㈱ ウィザス・北島あすか氏



㈱ WiShip・武田星子氏

女性がもつと輝ける業界に

7月1日(日)、雨の京都に一人、また一人と集う才媛たち。しかも、みな塾業界従事者——。ここで行われるのは、その名も「塾女(ジユクジヨ)研究会」。女性塾人だけが集まるという何とも興味深い勉強会だ。この研究会、印象的

た労働環境整備も不十分で、女性が自らの将来に夢を描きながら働ける環境とは言い難い状況だ。

しかし、熱意ある有能な女性塾人は少なくない。彼女らが塾業界でもっと輝くためには、何が必要なのか。問題視されながらも置き去りにされてきたこの課題に、

なネーミングや男子禁制という徹底ぶりや話題を呼び、初会合ながら大盛況。遠くは北陸や関東から、参加者は実に約五〇名にも達した。新たに塾業界へ吹き込んだこの薫風に、弊誌もさっそく密着取材を試みた。

ついに二石を投じたのが、主催者の㈱ WiShip(ワイシップ)常務取締役・武田星子氏だ。

武田氏は、業界歴約八年勤務する「学印個別」の教室長として京都の激戦区でその手腕を発揮、自塾を三〇〇名超の生徒が通う地域ナンバーワン教室に押し上げた。その後は塾長として、

女性塾人、集合よ！ 第一回「塾女研究会」 潜入レポート

いたかのように粋な計らいを見せたという。何とも心温まる話だ。その経験をもとに、氏は塾女たちにこんな愛あるエールを送った。「落ち込んだときは無理をせず、肩の荷をひとつ下ろしてみて。ほかに、女性が塾で働くための考え方について意見を交わすなど、トークは大いに盛り上がった。

自分を乱されない「コントロール力」を

第二部は「塾女力講義」。講師は武田氏、開口一番「仕事で結果を出せる人、出せない人の違いは何でしょう？」と問いかけた。ざわめきが漏れるなか示したその答えは「コントロール力」。女性として、仕事人としての自分に関わる数字・環境・人物からの影響を自制する力のことだ。

例として、氏は自らの業績不振期に言及。不振の理由を「恋をしていたから」と明かし、「まさに何も手に

またWiShipのブランダー(コンサル)としても活躍中の現役「塾女」だ。

塾女研究会は、その武田氏が「この世界に入ったときから、ずっとつくりたかった」と語る夢の結晶。その趣旨に賛同した塾女たちが次々と集まり、記念すべき第一回会合と相成った。

本音もチラリ？ 塾女トークセッション

研究会は二部構成。第一部では「活躍する塾女研究」と称して、ゲストと武田氏とのトークセッションが行われた。その意図について武田

つかなくないパターンでした」と笑った。心当たりがあるのか、塾女たちからも笑い声が漏れる。もちろん恋をするなどという話ではない。武田氏が伝えたいのは「他者に心を振り回されず、関わり方をコントロールできる力が大事。それは恋人も上司・同僚、生徒に対して同じ」だということだ。

「色恋ごとき」という言葉。かれ。夜は遅く、休日も少ない。周囲はほとんど男性。そんな特殊な環境の中で、今までの女性塾人たちは働いてきた。このようなことを話題にできる場ができただけでも、革命的進歩なのだ。質疑応答でも、女性らしい質問が飛び交う。「男性上司の上手な扱い方を教えてください」との質問に、会場は大いに沸いた。



意識の高い塾女たちが多数集った会場

ない。数値シミュレーションや情報整理についても具体的なレクチャーが多数行われ、それぞれに充実した時間を過ごせたようだ。参加した塾女たちからも「今まで一人で抱えていた悩みを共有できた」「素敵な塾女たちのご縁ができ、ますます頑張ろうと思った」などの声が多数聞かれた。

最後は、武田氏の「仕事もプライベートもコントロールできる、ステキ塾女を目指しましょう！」との呼びかけに、盛大な拍手が降り注ぐなか締めくくられた同会。今後定期的開催する予定だとのことだ。近い将来の「塾女の時代」到来を予感させる第一歩だった。

91 『就職に効く一年間の留学フェア』開催株式会社留学ジャーナル(東京都新宿区信濃町34 JR信濃町ビル6F、代表取締役社長:安藝 清)は、7月15日(日)に東京で、14日(土)に大阪・名古屋・福岡で、『就職に効く一年間の留学フェア』を開催した。

90 同フェアでは、就職や転職に効く1年間の留学をテーマに、留学準備から留学の成果、帰国後の就職までを、カウンセラーが詳しく話をした。目的に合った留学プランから帰国後の就職までが、1日で分かる内容となっていた。